

特集 予算審査

平成29年度当初予算は、121億6,260万円で平成28年度当初予算と比較して約1億2,670万円の増額となりました。

市の借金である市債残高は、約800万円減額の約125億5,600万円となります。また市の貯金となる財政調整基金の残高は1億4,500万円減の9億1,600万円と10億円を切ることになります。

また、3月定例会では平成28年度3月補正予算についても審議されました。平成28年度補正予算は約3,588万円減額し、予算額は約127億3,690万円となりました。

このような平成29年度当初予算、平成28年度3月補正予算について、市議会ではどのような審議がされたのか、特集として紹介します。

特集 1 平成29年度勝山市の新規U・Iターン施策について

U・Iターン施策を強力に推進するため、行政組織機構を一部改編し、商工観光部内に「ふるさと創生・移住課」を新設します。

今年度、新たに実施する主な新規U・Iターン施策は下記のとおりです。

- ①勝山暮らし体験ツアーの開催。勝山市への移住を検討している方を対象に、1泊2日の体験ツアーを年2回実施します。
- ②移住コンシェルジュの採用。移住相談、移住情報収集・提供など移住した方への支援を行います。
- ③移住促進市外通勤支援給付金。市境から市外の事業所まで、片道20Km以上通勤する方への支援を月額2,000円で行います。期間は2年間です。
- ④移住促進家賃助成事業補助金。新規に市内の民間賃貸住宅を借り、家賃を支払うU・Iターン者への支援を行います。月額上限1万円、子育て世帯や45歳未満の新規就農者にはそれぞれ月額1万円を加算します。期間は2年間です。
- ⑤移住促進引越費用助成事業補助金。住居移転に必要な家財道具等の運搬にかかる実費を補助します。上限10万円です。
- ⑥医療及び介護人材緊急確保奨励金。平成29年4月1日以降に、正規職員として市内の医療機関に勤務した看護師または介護サービス事業所に勤務した介護サービス従事者で過去3年以内に市内の医療機関や介護サービス事業所に勤務していない方が対象で、奨励金年額10万円を3年間支給します。

そのほか4施策含めて、新規事業にかかる予算総額は1,123万円となります。

特集 2 勝山市観光まちづくり株式会社への委託事業及び補助事業について

日本版DMOは、地域の多様な関係者（商工業、農林漁業、地域住民、宿泊施設、飲食店、交通事業者、行政等）が連携しつつ、観光振興を戦略的に推進する専門的な組織として各地域で形成・確立する組織です。観光まちづくり会社は、勝山版DMOとして、観光の産業化を目指す推進主体です。

これまで市の観光政策課で行ってきた9つの事業を効率的に実施するため、観光まちづくり会社への委託事業として、2,116万円を予算化しています。また、観光まちづくり会社が勝山版DMOとして、真に勝山の観光の産業化を目指す推進主体になるように支援するための補助事業として、いくつかの事業に対して人件費も含め、2,603万円の補助金を予算計上しています。

人件費補助に対しては異論がありますが、少なくとも2年程度はやむを得ないのではないかとの意見が多数でした。



(旬菜食祭 花月楼)

特集 3 航空写真による地目データ作成業務について

現在、市が保有している地目図は、平成6年に撮影した航空写真を基に、公図を重ね合わせて作成したもので、平成19年に土地の一部について境界の修正を行いました。家屋の位置については平成6年当時のままになっています。

地目図を最新のものに更新するために、平成31年までの3年間で位置情報を持った航空写真を撮影し、写真のゆがみを矯正し、できた平面図に公図を重ね合わせて、電子データの地目図を作成する